

BISAI -微細-



BISAI - 微細 - を使用した運用フロー例



細菌検査システムの特徴①

F7

E8

メインメニュー画面と個別入力画面

▼ メインメニュー

F4

F5

F6

☑ MainMenu (一般細変) F1

F2

F3

シンプルな画面で便利な操作性

□ 1検体の情報(オーダ情報、患者属性、塗抹、培養、薬剤感受性、迅速結果等)が1つの ウィンドウにて表示出来る為、画面の切り替え等の無駄な操作を排除しています。



細菌検査システムの特徴②

進捗・一覧機能

条件を入力することにより検体データをリストー覧表示することが可能。 ワークシートの代わりとしても使用可能です。 抽出条件を検査の種類別、または担当者に絞り込めば、作業の分散化

が図れます。

抽出条件を入力し、 検体をリスト表示 進捗・一覧入力 検査の種類で絞込み可能 検体番号 -受付日 11 → 2013/01/24 → 検体材料 検査終 ○ 送信済以外 全検体 未検査 未報告 ○ 報告済 ○報告済以外 ○送信済 診療科 検体番号 報 ホ カルテNo. 入外 病棟 患者名 中間報告日 最終報告日 担当者 医師名 ① 材料 台台城市名 童児 テスト 患者 201001220001 0000001 入院 1F病棟 神経内科 喀出痰 男 42 〇 〇 〇 2010/01/25 担当1 医師1 E 0000001 入院 1F病棟 神経内科 201001220002 2010/01/25 担当1 医師1 検査の進行度を 201001220003中 0000001 入院 1F病棟 神経内科 0 0 0 - 1 + 2 + 3 + -2010/01/24 担当1 医師1 201001220004 0000001 入院 1F病棟 神経内科 0 0 0 1+2+3+2010/01/24 担当1 医師1 色分けにて表示 0000001 入院 1F病棟 神経内科 20100122000 2 + 3 +担当2 医師1 20100122000 №001 入院 1F病棟 神経内科 テスト 患者 気管内採羽男 42 〇 担当2 医師1 男 42 〇 〇 〇 20100122000 00 入院 1F病棟 神経内科 テスト 患者 喀出痰 担当3 医師1 201001220008 テスト患者 喀出痰 男 42 担当3 医師1 報告ステータスを 男 42 20100122000 テスト 患者 鼻腔内 担当3 医師1 男 42 〇 〇 〇 20100122001 テスト 患者 喀出痰 3+ 担当3 医師1 色分けにて表示 20100512000 テスト 患者 喀出痰 男 42 1+ 2+ 医師1 男0 〇〇〇 テスト患者2 喀出痰 医師1 20100524000 2.345678 25米 115两棵 循境表的科 20100524000 2345678 外来 1F病棟 循環器内科 テスト患者2 自然排尿 男 0 1+ 陽 医師1 男 10 〇 〇 3456789 3F病棟 循環器内科 テスト患者3 喀出瘀 BatBat 20100524000 男 43 0 0 0 20100603000 0000001 入院 1F病棟 神経内科 テスト患者 喀出痰 医師1 201006030002 0000001 入院 1F病棟 神経内科 テスト 患者 喀出痰 男 43 〇 〇 〇 医師1 喀出痰 男 43 0 0 0 医師1 20100604000 0000001 入院 1F病棟 神経内科 テスト患者 男 43 〇 〇 〇 0000002 入院 1F病棟 神経内科 テスト患者 喀出痰 医師1 20100604000 20100604000 0000001 入院 1F病棟 神経内科 テスト 患者 気管内採約男 43 〇 〇 〇 医師1 男 43 〇 〇 〇 20100604000 0000001 入院 1F病棟 神経内科 テスト患者 喀出痰 医師1 気管内採痧男 43 ○ ○ ○ 医師1 201006040006 0000002 入院 1F病棟 神経内科 テスト患者 201006040007 0000001 入院 1F病棟 神経内科 テスト患者 気管支洗消男 43 ○ ○ ○ 2+ 2+ 医師1 201301210001 0000001 入院 1F病棟 神経内科 テスト患者 気管内採病男 45 ○ ○ ○ 担当1 医師1 報告書出力 • F1 F2 F7 F8 F11 F12 ||終了 報告書 ホハ送信 削除 設定 個別入力 検索 個別画面表示 画面設定

日々のルーチンのスピードアップ

リストにて検体データを表示することで一目で検査の進行度が分かり、 日常業務のルーチンをスピードアップできます。

リスト化された検体データは「未検査」「検 査終了済」「報告済」等のステータスで色 表示し、一目で検査の進行度が解るよう になっています。

□ 進捗チェック設定 表示しない項目		表示する項目	
233 (1) 4(1) 項目 3 (1) 4(4) 4(4) 1 (1) 4(4) 4(4) 1 (1) 4(4) 4(4) 1 (1) 5 (2) 4(4) 1 (1) 5 (2) 4(4) 2 (2) 4(4) 2 (2) 4(4) 2 (2) 4(5) 2 (2) 4(5) 3 (2) 4(5) 3 (2) 4(5) 4 (2) 4(· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	までの までの	
&THU0	高さ 50		登録

▲ 画面設定 画面への項目の追加・変更が容易に行え、 各PC毎に設定を変更することが可能

疫学統計システムの特徴①

ブラウザベースにて開発されているので、IE 6.0以上が インストールされているPCで操作が可能。

フレキシブルなレイアウトで簡単レポート作成

条件を入力することにより定期的なレポート、集計結果、院内感染対策資料として利用できる グラフから長期間の薬剤感受性率による傾向の分析まで迅速、かつ簡単に作成。



▲ 感受性スペクトル

疫学統計システムの特徴②

グラフ画像以外の表中集計値から対象検体データを参照可能で 患者ID、検体番号からもリンクしています。

集計値から患者検体追跡機能



可因快重和未回回

疫学統計システムの特徴③

菌出現数 · 薬剤感受性 · 累積MIC率

ユーザー独自のレイアウト設定にて出力可能。行項目、列項 目、改ページ項目を視覚的に選択でき設定操作が容易に行 えます。またレイアウトは保存できる為、定期的なレポート、資 料を素早く表示が行えます。

画像、グラフ、集計値はEXCEL出力が可能で、加工・編集が

別部門へ疫学統計システムの導入が容易

システムを院内LANに参加させることで、細菌検査室以外の端末で疫学統計シス テムの使用が可能です。簡易WEB結果参照としても使用可能で、例えば、感染制 御室からでも使用ができます。

7



Copyright (C) 2015 STB Inc. All Rights Reserved.

細菌検査システムの機能一覧

一般細菌/抗酸菌 機能	内容	標準	オプション
ユーザーアカウント機能	アカウント・パスワードを設定し、システム起動時にアカウント・パスワードにより起動を制御しセキュリティを強化することが可能。	٠	
個別入力	検体毎の受付情報を1画面にて入力。患者属性、塗抹、培養同定、薬剤感受性、他検査の結果を入力が可能。	٠	
患者マスター機能	登録されている患者データと一致する患者IDを入力することにより患者マスターからデータを呼び出すことが可能。	•	
前回値	同一の患者IDの検体データを表示することが可能。	•	
検体必須項目機能	個別入力画面から検体データを入力時に、設定した必須項目が入力されていない場合、警告ウィンドウを表示することが可能。	•	
耐性菌機能	患者毎に過去発生した耐性菌の検体の受付日を表示、または新規耐性菌を表示可能。	•	
連動マスター機能	設定した条件のデータを入力すると、連動して別データも入力することが可能。	•	
菌·薬剤辞書機能	菌・薬剤の辞書機能。	•	
画像登録機能	検体毎に画像データを保存可能。	٠	
保険点数機能	検査項目の保険点数を検体データ毎に閲覧することが可能。	٠	
薬剤感受性検査再計算機能	薬剤感受性検査結果の判定をMIC.阻止円より算出することが可能。	•	
検索入力	条件を入力し検体データを呼出し結果入力が可能。	•	
検査一覧結果入力	条件を入力し他検査、塗抹、培養、小川、液体の検査データをリスト表示し、結果入力が可能。また陰性一括入力が可能。	•	
進捗·一覧機能	検体番号、受付日から検体データをリスト表示し、塗抹検査・他検査結果の閲覧、報告書出力、ホスト通信が可能。表示項目の カスタマイズ変更が可能。	•	
報告書出力	指定レイアウトの報告書を出力可能。	•	
帳票出力機能	標準レイアウトのワークシート、台帳、未検査リスト、医事リストが出力可能。	•	
JANIS出力	JANISのデータを出力可能。	•	
日·科·病棟·集計CSV出力	日別・科別・病棟別で検査の集計をCSV出力。	•	
フリーCSV出力	CSV出力のフォーマットのカスタマイズが可能で作成されたフォーマットを元にCSV出力。	•	
マスター管理	マスターの登録、削除の編集することが可能。	•	
データ管理	検体データ、マスターを指定の場所にバックアップすることが可能。	•	
標準ホストオンライン	弊社標準仕様のホストオンラインが可能。	•	
特注ホストオンライン	特注開発のホストオンラインが可能。		•
外注IF	外注との送信、受信、ワークシートが可能		•
ラベル印刷機能	ラベルプリンタを使用しラベル出力。		٠
検査機オンライン	過去実績検査機オンライン 血液培養、培養同定・感受性、PCR検査、抗酸菌、電子ノギス		•

疫学統計システムの機能一覧

カテゴリ	機能	内容
疫学統計 システム	ログイン機能	アカウント・パスワードによりセキュリティの強化することが可能
	問い合わせ機能	・検索機能(一般細菌、抗酸菌) ・患者履歴(患者IDを指定)の一覧に一般細菌と抗酸菌データの両方を表示 ・検体データ 一般細菌と抗酸菌の結果表示 ※検体データ表示デザイン、項目のカスタマイズを行いません
	期間指定·条件設定	期間指定、重複検体排除の設定絞込み条件の設定
	マスター登録	菌セットマスター、薬剤セットマスター
	院内感染対策	 ・検体リスト(並替指定、指定した薬剤の感受性結果表示) ・多剤耐性菌リスト(菌名/材料/薬剤/判定の条件登録、並替指定、指定した薬剤の感受性結果表示) ・感受性スペクトル(菌と薬剤を指定し、指定した判定値の%と指定した色で結果を表示) ・新規・継続患者リスト(菌を指定) ・分離推移表(菌を指定、新規/継続、受付検体数/受付患者数の12ヶ月間の複合グラフ) ・菌出現者別月内管理(菌指定した菌を検出した患者の1ヶ月間の分離状況) ・入外別検出レポート(菌指定した菌の検出数を入院は病棟/材料グループの表に、外来は診療科毎の表に集計) ・入外別検出グラフ(菌指定した菌の検出数と患者数を入院、外来別に集計した縦棒グラフ) ・月別分離菌頻度(3ヶ月間に検出した菌株数の多い上位10菌種を対象に月毎に集計した円グラフ) ・陽性率(病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、受付日(月)、受付日(週)、受付日(年)より選択)
	菌出現数	・行項目、列項目、改ページ項目を菌名、菌セット、病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、菌量、受付日(週)、 受付日(月)、受付日(年)から選択して独自のレイアウトを登録 ・%の表示を「列/行/なし」のいずれかを選択 ・横棒グラフと縦棒グラフを表示
	薬剤感受性率	・列項目は薬剤(薬剤セット)固定ですが行項目、改ページ項目は、菌名、菌セット、病棟、診療科、入外、材料、材料グ ループ、菌量、受付日(週)、受付日(月)、受付日(年)から選択して独自のレイアウトを登録 ・%/数の表示選択 ・横棒グラフと縦棒グラフを表示
	累積MIC率	・行項目2は薬剤(薬剤セット)固定ですが行項目1、改ページ項目は、菌名、菌セット、病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、菌量、 受付日(週)、受付日(月)、受付日(年)から選択して独自のレイアウトを登録 ・%、数の表示選択 ・折れ線グラフを表示 ※すべてのレポート画面(グラフ画像以外)の集計値からの詳細展開
	一括出力	院内感染対策画面の各レポート・グラフと菌出現数、薬剤感受性率、累積MIC率の独自に作成したレイアウトの一覧よ り定期的に出力するレポートを設定の上、「一括出力」ボタンを押すと、一つのEXCELファイル内に複数シート作成して 出力 ※菌出現数、薬剤感受性率、累積MIC率は、表のみ(グラフなし)